

## 2. 環境指標の森

### (5) 山家宝満宮の森

- 宝満山竈戸神社を山家地区に勧請したもので、玉依姫・神功皇后・応神天皇を祭神としています。
- 永正18年(1521年)に建てられたとされる神社です。現在の拝殿は弘化2年(1845年)に再建されたものです。



#### 山家宝満宮の森で見られる植物

- 【木本類】 モミ、スギ、ヤマモガシ、クスノキ、ヤブニッケイ
- 【草本類】 クサイチゴ、タチツボスミレ、セントウソウ、オドリコソウ、オオイヌノフグリ
- 【シダ類】 フモトシダ、オオカガマ、カナワラビ、ベニシダ ...など

#### 山家宝満宮の森一帯で見られる動物

- 【哺乳類】 アカネズミ、コウベモグラ、イタチ、テン、アナグマ、イノシシ
- 【爬虫類】 シマヘビ
- 【両生類】 タゴガエル、トノサマガエル、ヤマアカガエル
- 【昆虫類】 コシアキトンボ、サツマニシキ、ムラサキシジミ、アカタテハ、クロアゲハ
- 【鳥類】
  - 〈留鳥〉 ダイサギ、アオサギ、キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、カササギ ...など

## ■コースガイド

- 場所** ◆筑紫野市山家にあります。
- アクセス** ◆西鉄バス山家小学校バス停下車、JR筑前山家駅から徒歩15分。
- 施設** ◆山家宝満宮には、トイレはありません。
- 観察情報** ◆山家小学校では自然観察会が実施されています。
- ひとこと** ◆10月に開催される秋の例祭では岩戸神楽が奉納されています。



自然観察会の様子

## ■自然観察

### 植物

山家宝満宮の森は、宮地岳の南東部山麓にあり、鎮守の森として守られてきた社有林で、クスノキの大木の他、オガタモノキ、ヤマモガシ、タブノキ、イロハモミジなどを見ることができます。宝満宮を取り囲む林は下層植生が多い照葉樹林となっています。本殿裏の林内に入ると、珍しいヤマモガシの巨木を2本見ることができます。ヤマモガシはサツマニシキという蛾の食樹です。



オドリコソウ

### 動物

クスやヤブニッケイなど、照葉樹の巨木の落ち葉が豊かな腐植を形成しているため哺乳類ではネズミ類の生息に適しておりアナグマ、コウベモグラ、テン、イノシシ等が生息しています。鳥類ではムクドリ、ヒヨドリ、ホオジロ等を見ることができ、またアマガエルやタゴガエル（両生類）、シマヘビ（爬虫類）などを見ることがもできます。

### 歴史

#### ◆山家岩戸神楽

毎年10月17日に催されている、江戸時代から筑前に伝わる里神楽です。昭和51年（1976年）に筑紫野市無形民俗文化財の指定を受けています。あめのうずめのみこと あまのいわと天細女命が天岩戸の前で舞を奉納する場面があることから「岩戸神楽」と呼ばれており、明治時代までは神職によって舞われる社家神楽でしたが、現在は氏子が参加する神楽社が結成され、伝統の保存に努めています。



山家宝満宮